

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特養 長後富士白苑	階数	地上3F
建設地	神奈川県藤沢市長後字中原2722番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2010年12月27日
敷地面積	9,895 m <sup>2</sup>	作成者	(株)光建構造設計事務所
建築面積	3,202 m <sup>2</sup>	確認日	2010年12月27日
延床面積	7,910 m <sup>2</sup>	確認者	(株)光建構造設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: A: B+: B: C:

環境品質 Q

環境負荷 L

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

建設 修繕・更新・解体 運用

参照値 100%

評価対象 86%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>室内環境として、遮音等級T-3のガラスを採用し、全館禁煙、バリアフリー化により健康面や利便性を考慮し快適な生活ができる計画をしている。外皮面に断熱材を使用することによって、室外からの負荷を低減している。</p> <p>室外環境としては、敷地内と屋上に緑化を設け良好な景観形状と建物利用者のための適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性への配慮をしている。</p>	0
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>遮音等級T-3 外皮に断熱施工 全館禁煙</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>バリアフリー新法の「建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)」を満たしている。 空調・給排水配管に耐用年数の長い材質を採用し更新必要間隔が長い。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>外壁・屋根に断熱材を使用することにより、熱負荷の低減を図っている。 高効率の設備を採用している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>洗面器に自動水栓と大便器に節水型の器具を使用。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>敷地内の緑化により地域景観の向上を図り、屋上緑化も設け、緑の創出を図っている。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の低減を図っている。 建物利用者のための適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性への配慮をしている。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし